

東京都及び近県における高校での外国人入学特別枠について

2020年5月17日 東京の日本語教育を考える会

1. 東京都内の小中高校の外国につながるこどもの置かれた現状

東京都の高校外国人枠設置はここ数年大きく進んできた。が、一層近隣他県共々拡充が期待される。

(1) 2020年度都立高校在京外国人入試枠と合格倍率

※2019年度、国際高校バカロレアは「外国人枠定員5名」があるが、「英語運用能力検査」による選考であり、多様な外国人生徒の受験が期待できるものではなく、データから除いた。
下記(2)の2020年データも同様である。

学校名	人数	定員	応募	合格	応募/定員倍率
都立国際高校		25名	54名	25名	2.16
都立飛鳥高校		20名	32名	20名	1.60
都立田柄高校	普通科	6名	3名	3名	0.50
	外国文化科	14名	27名	14名	1.93
都立竹台高校	普通科	20名	33名	20名	1.65
都立南葛飾高校	普通科	20名	18名	17名	0.90
都立府中西高校	普通科	20名	33名	20名	1.65
都立六郷工科高校	オートモビル工学	5名	4名	4名	0.80
	デュアルシステム	5名	2名	2名	0.40
都立杉並総合高校	総合学科	15名	11名	11名	0.73
合計		150名	217名	136名	1.60

※「引揚者」については「引揚生徒対象」の特別入学枠がある。2020年度は3校の高校普通科で、各校6名・計18名の募集人員があり、「応募0名、合格者0名」であった。2016年度に「外国人入試特別枠」が23区内に2校、2017年度に多摩地区に1校、2018年度に工業科が1校、2020年度に総合学科に1校が設置された。しかし、200名を超える受検者があり、まだまだ需要が多いことは想定され、更なる拡充が必要。今後は全体の設置数増加に加え、地域のバランスよく複数の「外国人入試特別枠」を設置することが求められている。

(2) 都立高校在京外国人入試枠と合格倍率(22年間の推移)

※高校名～国:国際 飛:飛鳥 田:田柄 竹:竹台 南:南葛飾 府:府中西 六:六郷工科 杉:杉並総合

年度	校名	定員	応募	合格	倍率	全日制普通科実質倍率
1999	国	15名	65名	19名	3.42倍	
2000	国	15名	68名	23名	3.00倍	
2001	国	15名	71名	21名	3.38倍	
2002	国	20名	59名	23名	2.57倍	
2003	国	20名	72名	22名	3.27倍	
2004	国	20名	47名	22名	2.14倍	
2005	国	20名	77名	22名	3.50倍	
2006	国	25名	66名	26名	2.54倍	
2007	国	25名	93名	27名	3.44倍	
2008	国	25名	85名	26名	3.27倍	
2009	国	25名	85名	26名	3.27倍	
2010	国	25名	112名	26名	4.31倍	
2011	国・飛	40名	116名	42名	2.76倍	1.44倍
2012	国・飛・田	55名	114名	56名	2.04倍	1.40倍
2013	国・飛・田	55名	117名	55名	2.12倍	1.44倍
2014	国・飛・田	55名	151名	57名	2.65倍	1.45倍
2015	国・飛・田	65名	172名	65名	2.65倍	1.45倍
2016	国・飛・田・竹・南	95名	197名	92名	2.14倍	1.47倍
2017	国・飛・田・竹・南・府	110名	216名	107名	2.02倍	1.47倍
2018	国・飛・田・竹・南・府・六	120名	247名	116名	2.12倍	1.45倍
2019	国・飛・田・竹・南・府・六	130名	225名	118名	1.91倍	1.41倍
2020	国・飛・田・竹・南・府・六・杉	150名	217名	136名	1.60倍	1.40倍

(3) 日本語指導が必要な児童生徒数(カッコ内は日本国籍)～東京都公立学校

	小学校	中学校	高校	義務教育学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
2012年度	1556(597)人	873(181)人	359(34)人		0人	8(4)人	2796(816)人
2013年度	1100(----)人	602(----)人	349(---)人		0人	5(---)人	2056(----)人
2014年度	2009(727)人	843(193)人	462(96)人	0人	0人	6(1)人	3320(1017)人
2015年度	2249(795)人	1023(216)人	522(92)人	0人	0人	6(4)人	3804(1107)人
2016年度	2364(800)人	1005(191)人	606(80)人	22(6)人	0人	20(8)人	4017(1085)人
2017年度	2249(----)人	969(---)人	736(----)人	11(--)人	0人	28(-)人	3993(----)人
2018年度	2544(687)人	1232(205)人	768(46)人	27(0)人	0人	15(3)人	4586(941)人
2019年度	2598(671)人	1069(198)人	742(51)人	17(0)人	0人	39(4)人	4465(924)人

(前項表の補足)文科省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」より。2013/2015 年度：都独自の調査 2013 年までは「東京都の国際理解教育」より。2015 年以降は東京都教育委員会「日本語指導が必要な児童・生徒への指導」より。2013/2017 年は外国人のみの数。義務教育学校は品川区の小中一貫校で小学校・中学校部分をまとめた数字になっている。

2. 東京近県の公立高校における外国人特別枠による入学状況 (2020年度)

①埼玉県

学校名	定員	受験者	合格者	学校名	定員	受験者	合格者
和光国際高校	10	5	2	川口東高校	5	4	4
岩槻高校	10	2	2	栗橋北彩高校	5	3	3
蕨高校	10	2	0	妻沼高校	5	6	6
深谷第一高校	10	4	2	川越西高校	5	0	0
南陵高校	10	9	3	三郷北高校	5	7	4
草加南高校	10	0	0	新座柳瀬高校	5	4	4
合計					90	46	30

※ 埼玉県は12高校 定員90名。今年度2校10名増えた。

②千葉県

学校名	志願者	受験者	合格者
幕張総合高校 普通科	6	6	4
松戸国際高校 国際教養科	10	10	8
成田国際高校 国際科	15	14	6
市川工業高校(定) 工業科	5	5	4
柏市立柏高校 普通科	10	10	6
市川昂高校 普通科	1	1	0
市原八幡高校 普通科	2	2	2
柏井高校 普通科	2	2	0
京葉工業高校 機械科	0	0	0
電子工業科	1	1	1
設備システム科	0	0	0
建設科	0	0	0
流山おおたかの森高校 国際コミュニケーション科	0	0	0
富里高校 普通科	3	3	2
市立松戸高校 普通科	8	8	3
佐倉東高校(定) 普通科	3	3	3
銚子商業高校(定) 商業科	2	2	2
生浜高校 普通科夜間部	4	4	2
八千代東高校 普通科	0	0	0
合計	72	71	43

※ 市川工業(定)は機械電気・建築科から工業科に変更になった。
千葉県は16校19学科。昨年度2校2学科増え、今年度1校増えた。

③神奈川県

	募集定員 (A)	学力検査 受験者数 (B)	合格者数 (C)	受験時 競争倍率 (B/C)
県立鶴見総合高校 総合学科	20	23	20	1.15
県立横浜清陵高校 単位制普通科	13 ^(3増)	12	12	1.00
県立川崎高校 単位制普通科	12 ^(2増)	15	12	1.25
県立相模原弥栄高校 単位制普通科 (校名変更)	10	10	10	1.00
県立橋本高校 普通科	10 ^(5減)	12	10	1.20
県立大師高校 単位制普通科	10	9	9	1.00
県立座間総合高校 総合学科	10	13	10	1.30
県立愛川高校 普通科	10	13	10	1.30
県立大和南高校 普通科	10	6	6	1.00
県立伊勢原高校 普通科	10	11	11	1.00
県立計	115	124	110	1.13
横浜市立横浜商業高校 国際学科	4	9	4	2.25
横浜市立みなと総合高校 総合学科	6	15	6	2.17
全日制・単位制 全体	125	148	120	1.22
昼間定時制				
県立相模向陽館高校 単位制普通科午前部	10	12	10	1.20
同 単位制普通科午後部	10	5	7	0.71
合計	20	17	17	1.00
神奈川県全体	145	165	137	1.14

※ 【全日制・単位制】【昼間定時制】募集定員合計：145名 (今年度一部高校定員増減あり)